

ネイティブ・スピーカー（NS）を活用した授業

<平成30年度の配置状況>

- 小学校： 3・4年 年間15時間の授業のうち、3時間のNSを活用した授業の実施
5・6年 年間50時間の授業のうち、15時間のNSを活用した授業の実施
- 中学校： 1～3年 週1回程度NSを活用した授業の実施

- 授業実施回数の三分の二程度はALTを活用した授業の実施（英語が使える日本人の育成のための行動計画 平成15年）
- 提言3 ALT、ICT等の効果的な活用を通じて生徒が英語を話す機会を増やす（国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策 平成23年）

それぞれの世界にはばたく嵬っ子の育成
～グローバル社会にはばたく児童生徒のために～

小学校

- 平成31年度 NS授業時数
 - 3・4年生 9時間（年間授業時数 25時間）
 - 5・6年生 20時間（年間授業時数 60時間）
- 配置期間
 - 1学期から年間をとおしてNSを活用できる環境づくり
- NSは授業の質を向上
 - 生きた英語のモデル
 - コミュニケーションを図る楽しさを知り、学習意欲の向上
 - 「聞く・読む・話す・書く」全ての言語活動が充実
 - ONSの出身国の文化等を中心とした国際理解教育の推進
 - 言語活動の教材の蓄積
- 授業以外の業務を推進
 - 国際クラブなどのクラブ活動の指導
 - スピーキング・指導方法について教員研修の実施



「英語で伝わった！」と感じる授業の実施
学級担任を英語面でサポート

中学校

- 配置期間
 - 2学期から3学期 全日配置（8/26～3/13）
- NSは授業の質の向上
 - 生徒に生きた英語の提供
 - 生徒の英語力・学習意欲の向上
 - 英語による即興的な会話の実施（新学習指導要領の新指導項目）
 - 英語の授業は英語を推進とリスニング力の向上
 - スピーキングテストの実施
- 授業以外の業務の推進
 - 実技試験の作成と採点
 - 英語暗唱大会・スピーチ大会の審査
 - 小中交流事業、幼稚園への出前授業の実施
 - 英語教室の環境整備



生徒の英語力を向上します
生徒が英語を使う機会を増やします